

開講科目名 / Course	養護概論	
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 2 学期 / Second	
開講区分 / semester offered	2 学期 / Second	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	小野 治子	
担当教員名 / Instructor	小野 治子	
必修・選択 / compulsory subject	選択	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	学校教育、学校保健を担う教育職としての養護教諭の基本的理念、役割等の基礎について学修することを目的とする。また、養護教諭の役割の学習を通じて、学生自身の養護教諭観を構築する。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 養護についての本質や基本的概念について説明できる。</li> <li>2. 看護と養護の共通点と相違点について説明できる。</li> <li>3. 養護教諭の職務について説明することができる。</li> <li>4. 自身の養護教諭観について述べるができる。</li> </ol>	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、5.地域性・国際性、6.探究心と創造力	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>01. 養護教諭の本質と職業倫理</li> <li>02. 学校教育と学校保健</li> <li>03. 看護師と養護教諭の共通点と相違点</li> <li>04. 養護教諭の職務（グループワーク）</li> <li>05. 養護教諭の職務（発表と検討）</li> <li>06. 子どもの現代的な健康課題とその対応（グループワーク）</li> <li>07. 子どもの現代的な健康課題とその対応（発表と検討）</li> <li>08. 養護教諭活動の実際</li> </ol>	
その他の授業の工夫	学生が主体的に学ぶため、事前課題を課し、事前課題をもとにグループワークや発表、意見交換等のアクティブラーニングを実施する。	
時間外学修	事前学修：事前課題を別途指定する。その課題を事前に学習する（15h）。 事後学修：配布資料やディスカッションを踏まえて復習する（7h）。	
評価方法と評価割合	定期試験：60%、平常点：10%（グループワークにおける貢献度、発表等の積極性）、各種提出物：30%（提出物の内容も評価に含む）	
テキスト	学校における養護活動の展開＜第12版＞養護教諭養成講座（ふくろう出版）	
参考書	新改定 学校保健実務必携＜第5次改定版＞（第一法規）	
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	小野治子：高等学校・支援学校の養護教諭
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	有
	内容	小学校、中学校、高等学校の養護教諭
実務経験をいかした教育内容	小学校、中学校、高等学校および支援学校で養護教諭として実務経験のある教員が講義を行う。	